

休眠預金等活用審議会専門委員 略歴

おがわ こうじ
主査 小河 光治

公益財団法人あすのば代表理事



- 平成元年 明治大学農学部卒業
「災害遺児の高校進学をすすめる会（あしなが育英会の前身団体）」
- 平成 27 年 あしなが育英会を退職
福島大学大学院地域政策科学研究科修了
子どもの貧困対策センター「一般財団法人あすのば」設立代表理事
- 平成 28 年 「公益財団法人あすのば」代表理事

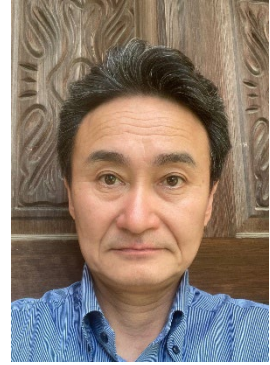
昭和 40 年、愛知県小牧市生まれ。交通事故で父を亡くし、交通遺児育英会と日本育英会の奨学金で進学。明治大学卒業後、あしなが育英会に専従。神戸レインボーハウス館長、奨学課長、調査担当、子どもの貧困担当などを歴任し、平成 27 年 3 月に 26 年間勤務したあしなが育英会を退職。福島大学大学院地域政策科学研究科修了。同年 6 月、子どもの貧困対策センター「一般財団法人あすのば」を設立し、代表理事に就任。平成 28 年 4 月「公益財団法人あすのば」に移行。社会福祉法人「滋賀県社会福祉協議会」理事(令和元年～)。公益財団法人「こども財団」理事(令和 4 年～)。特定非営利活動法人「国際自然大学校」理事(令和 5 年～)。内閣府「子どもの貧困対策に関する検討会」構成員(平成 26 年)。文部科学省「高校生等への修学支援に関する協力者会議」委員(平成 29 年～)。

【政府の審議会等】

- ・内閣府「子どもの貧困対策に関する検討会」構成員(平成 26 年)
- ・文部科学省「高校生等への修学支援に関する協力者会議」委員(平成 29 年～)

主査代理 ^{そねはら} 曾根原 ^{ひさし} 久司

特定非営利活動法人えがおつなげて代表理事



- 昭和 60 年 明治大学政治経済学部経済学科卒業
- 平成 3 年 株式会社ベンチャーリンク入社
- 平成 6 年 株式会社グローバルオープンシステム代表取締役
- 平成 13 年 特定非営利活動法人えがおつなげて代表理事

長野県飯田市出身。明治大学卒業後、金融機関等の経営コンサルタント等を経て、東京から山梨の農村地域へ移住。2001年NPO法人えがおつなげてを設立。耕作放棄地や森林資源といった農村資源の活用を、三菱地所グループなど多数の企業との連携で行うことによって、農村の活性化に取り組んでいる。現在は、山梨のみならず、全国の農村地域の活性化の支援や人材育成を、総務省地域力創造アドバイザー、内閣府地域活性化伝道師等として取り組んでいる。また平成26年、世界をリードするソーシャル・アントレプレナーとして、アショカフェローに選出される。

【政府の審議会等】

- ・総務省地域力創造アドバイザー
- ・内閣府地域活性化伝道師

表彰 日経ソーシャルイニシアチブ大賞 大賞受賞（H26年度）/日本経済新聞社
日本農業賞「食の架け橋の部」大賞受賞（H25年度）日本放送協会・全国
農業協同組合中央会・都道府県農業協同組合中央会 など多数

著書 『日本の田舎は宝の山』（日本経済新聞出版社）
『農村起業家になる―地域資源を宝に変える6つの鉄則―』（日本経済新聞出版社）

くりばやし ち え こ
栗林 知 絵子

特定非営利活動法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事長
民生委員・児童委員



昭和 62 年 国立長岡工業高等専門学校工業化学科卒業
株式会社和光純薬工業入社、
平成 7 年 株式会社和光純薬工業退社、
平成 19 年 株式会社リスダンケミカル入社
平成 27 年 株式会社リスダンケミカル退社、
平成 28 年 特定非営利活動法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク代表理事

平成 16 年より池袋本町プレーパークの運営に携わり地域活動を始める。自他共に認める「おせっかいおばさん」である。

地域の子どもの地域で見守り育てるために、プレーパーク、無料学習支援、子ども食堂など、子どもの居場所を点在化して、子どもと家庭を伴走的に支援している。

平成 27 年度 「あしたのまち・くらしづくり活動」内閣官房長官賞受賞 平成 27 年度
東京都女性活躍推進大賞を受賞

著書:「子ども食堂をつくろう！一人がつながる地域の居場所づくり」(平成 28 年、
明石書店)

こばやし み あい
小林 味 愛

株式会社陽と人（ひとびと） 代表取締役



平成 22 年 3 月 慶應義塾大学法学部政治学科 卒業
平成 22 年 4 月 衆議院事務局入局
平成 24 年 10 月 経済産業省出向
平成 26 年 10 月 株式会社日本総合研究所入社
平成 29 年 8 月 福島県国見町に株式会社陽と人設立、現在に至る
令和 3 年 3 月 復興庁「復興推進委員」就任

全国各地で地域活性化・地方創生プロジェクトに携わったのち、福島県国見町で株式会社陽と人を設立し、福島県の未利用資源の価値化と人口減少下の産業エコシステムづくりに取り組む。桃の規格外品の流通事業（物流・商流の新規構築）のほか、あんぽ柿の製造工程で廃棄されていた柿の皮を化粧品原料化し、自社ブランド「明日 わたしは柿の木にのぼる」を立ち上げ。

第 5 回ジャパンメイドビューティアワード優秀賞受賞、サスティナブルコスメアワード 2020 シルバー賞及び審査員賞ダブル受賞、ソーシャルプロダクツアワード 2021 ソーシャルプロダクツ賞受賞、第 9 回環境省グッドライフアワード特別賞受賞、サスティナブルコスメアワード 2021 審査員賞・ダイバーシティ賞受賞、2021 年度ふるさと名品オブ・ザ・イヤー地方創生賞受賞など数多くの賞を受賞。

しらいし ともや
白石 智哉

フロネシス・パートナーズ（株） 代表取締役



1986年 一橋大学法学部 卒業
2000年 (株) ジャフコ 事業投資本部 本部長就任
2005年 ペルミラ・アドバイザーズ (株) 代表取締役就任
2012年 (一社) ソーシャル・インベストメント・パートナーズ 代表理事就任
2014年 フロネシス・パートナーズ (株) 代表取締役就任 (現任)
2021年 セントケア・ホールディング (株) 社外取締役就任 (現任)
委員 GSG (Global Steering Group) for Impact Investment国内諮問委員

1980年代より米国シリコンバレーやアジア各国で10年間以上ベンチャー投資の経験を積んだ。1998年に日本で初めてプライベート・エクイティ (PE) 投資を開始、その後欧州系PE投資会社であるペルミラの日本代表を務めた。2014年にフロネシス・パートナーズ (株) の代表となり現在に至る。

企業投資や経営の経験を活かして、2012年にベンチャー・フィランソロピー組織であるソーシャル・インベストメント・パートナーズを設立し社会的事業への投資・助成事業を行なってきた。インパクト投資の国際機関であるGSGインパクト投資国内諮問委員を務める。

すいた ひろし
吹田 博史

ヒロCSR・企業市民活動研究所 代表



学歴：

昭和63年 神戸商科大学商経学部 卒業

経歴：

(主な経歴)

昭和63年 4月	武田薬品工業株式会社 入社
平成10年 5月	武田薬品労働組合 東京支部書記長
平成12年 5月	同労働組合 中央執行委員 兼東京支部長
平成18年 5月	同労働組合 副中央執行委員長 兼東日本支部長
平成20年 5月	武田薬品工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 (秘書・対外活動) 主席部員
平成22年 6月	同社 コーポレート・コミュニケーション部 (CSR) 主席部員
平成28年 4月	同社 コーポレート・コミュニケーション&パブリック・アフェアーズ部 企業市民活動・寄付担当部長
令和2年 4月	同社 グローバルコーポレートアフェアーズ グローバルCSR & パートナーシップストラテジー ジャパンCSRヘッド (令和5年9月退任)
令和5年 10月	ヒロCSR・企業市民活動研究所 代表 (現任)

たまだ
玉田 さとみ

学校法人明晴学園理事（教頭補佐）



学歴：

昭和 59 年 日本女子体育大学 卒業

経歴：

（主な経歴）

昭和 59 年 4 月 （株）タムコ所属 TBS 情報キャスター
昭和 60 年 1 月 （株）テレコムサウンズ入社 中継番組ディレクター
昭和 62 年 4 月 放送作家 フリーランス（現職）
平成 16 年 4 月 特定非営利活動法人
おおた市民活動推進機構 設立 代表理事
平成 19 年 12 月 学校法人明晴学園 設立 理事（現）
特定非営利活動法人
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター
事業統括ディレクター（現）
平成 22 年 3 月 合同会社VALN 設立 代表社員
令和 5 年 2 月 株式会社タマプロ 設立 代表取締役社長（現）

（その他 主な活動歴）

平成 12 年 8 月 全国ろう児をもつ親の会設立 副会長（現）
平成 15 年 4 月 特定非営利活動法人
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター設立
令和 1 年 9 月 全日本ろうあ連盟 ろう乳幼児等支援対策チーム委員（現）
令和 3 年 8 月 内閣府 休眠預金等活用審議会専門委員 任命（現）
令和 5 年 3 月 東京都 難聴児の早期支援及び関係機関連携強化協議会委員
（現）